

「弥彦桜井郷温泉 さくらの湯」
田園のなかの温泉

平成20年度 第17回建築作品 優秀賞
大成建設株式会社北信越支店一級建築士事務所

■コンセプト

古くから温泉を有する弥彦山麓を背景にした本田園地帯の温泉施設である。様々な年代の人々が楽しめ、思い、集まれる温泉を目指し、田舎、水路、船泊、ゆめ温泉という田園の原風景を抽出し、現代的に解釈・再構築した。

■形態と構成

切妻屋根を主軸として、分散化とすらし配置は、背景の山々と対応した風貌を創り出した。弥彦山麓を借景にした露天風呂は、音波や音通など様々な要素を有する田舎なとした空間を演出した。内部品や休憩施設などは、屋根を活かし伸びやかで豊かな内部空間とした。

■内部と外部の境界

各所の面は、例えば直のある足場を設けることで内部と外部を一体化している。こうした分散配置は、奥面への延長や新たな通り廊下を連続することで、何重の増築計画を容易にしている。

建屋や内庭と外部の境界の曖昧さなどの伝統的手法を取り入れることで、親しみやすい田園の温泉施設となった。

■機能性

圧縮面とベアガラス、断熱性能化、各所のDPJ等により快適性と安全性も確保した。

